

具体的な取組の柱						
事 項						
具体的取組		益田市		島根県	気象台	国交省
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組						
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進						
・高津川改修		U	R6 当初計画			整備計画に基づき実施
			R7 3月末時点			
■ 避難行動・水防活動に資する基盤等の整備						
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上		D,M,N	R6 当初計画		・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 ・府県単位での「線状降水帯」による大雨の半日前からの呼びかけ」の運用開始。(令和6年5月28日～)	避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上
			R7 3月末時点			
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備		U	R6 当初計画			危機管理型水位計の更新予定
			R7 3月末時点			
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等						
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)		E,F,G,J,緊	R6 当初計画	ハザードマップを更新し、地域の避難計画等の修正又は作成を進める		
			R7 3月末時点			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し		C,E,F,G	R6 当初計画	予定なし		
			R7 3月末時点			
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供		J	R6 当初計画	継続して避難確保計画作成等支援を行う	避難確保計画等の作成及び、訓練等の支援	・益田市内の定住外国人等を対象とした講習会を実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・訓練実施における情報提供の支援
			R7 3月末時点			
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討		K	R6 当初計画	躊躇なく避難指示等の発令ができるよう、発令基準や災害時動員体制を再確認する		
			R7 3月末時点			
・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施		F,H	R6 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う。 高津川流域の商工会議所や企業を対象とした講習会等を実施し、企業(1社)の水害BCP作成支援(※)益田クッキングフーズに水害BCP作成支援を引き続き実施予定
			R7 3月末時点			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまごまごハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施		A,E,F,G,J,緊	R6 当初計画	ハザードマップを更新し、各戸配布する		益田市におけるまごまごハザードマップの設置箇所などを引き続き検討
			R7 3月末時点			
■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成						
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し		B,緊	R6 当初計画	協議会の一員としてタイムラインの運用及び見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)	多機関連携型タイムラインの運用・見直し
			R7 3月末時点			
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項						
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)		緊	R6 当初計画	協議会の一員としてホットラインの構築に協力する	県管理河川のタイムラインを活用して情報提供※タイムライン対象は高津川上流および津和野川の一部	出水期前にホットラインの構築状況、タイミングを確認
			R7 3月末時点			

具体的な取組の柱						
事 項						
具体的取組			益田市	島根県	気象台	国交省
■防災教育や防災知識の普及						
・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	A,B,F	R6 当初計画				引き続き実施
		R7 3月末時点				
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,I,M,S	R6 当初計画	協議会の一員として周知等に協力する	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。 また、webによる市町村支援として、「気象防災ワークショップ」の開催や、「あなたの町の予報官TV」の動画配信を継続して実施する。	水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNS(Twitter)の有効活用
		R7 3月末時点				
・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	R6 当初計画	出前講座等の実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	益田市内の小中学校を対象とした防災教育を引き続き実施
		R7 3月末時点				
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I,M	R6 当初計画	協議会の一員として開催に協力する	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。	出前講座等において住民への説明を実施
		R7 3月末時点				
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I,M	R6 当初計画				プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施
		R7 3月末時点				
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	緊	R6 当初計画	協議会の一員として作成促進に協力する	要請に応じて参加・支援		高津川流域の地域からの要望も踏まえて講習会等によるマイ・タイムラインの作成支援を実施予定 マイ・タイムライン講習会の実施に向けた広報活動を事務所SNSを活用し実施
		R7 3月末時点				
■減災・防災に関する国の支援						
・適切な土地利用の促進	緊	R6 当初計画				霞堤背後地における土地利用規制等を促進するため、引き続き、水害リスクを情報提供
		R7 3月末時点				
・地域防災力の向上のための人材育成	緊	R6 当初計画				地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援
		R7 3月末時点				
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R6 当初計画				必要に応じて実施
		R7 3月末時点				
・代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R6 当初計画				必要に応じて実施
		R7 3月末時点				
・災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R6 当初計画				必要に応じて実施
		R7 3月末時点				
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R6 当初計画				必要に応じて実施
		R7 3月末時点				
②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動						
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備						
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D,M,N	R6 当初計画				洪水予報の改善
		R7 3月末時点				
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	U	R6 当初計画				設置予定なし
		R7 3月末時点				
・樋門の無動力化の推進	U	R6 当初計画				樋門無動力化の実施予定
		R7 3月末時点				

具体的な取組の柱					
事 項					
具体的取組		益田市		島根県	
				気象台	
				国交省	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化					
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	L,N	R6 当初計画	実際の水防活動の際は、消防本部からの指示(メール、電話等)によるものであり、消防本部により連絡体制の確認を徹底する		
		R7 3月末時点			
・高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	H,M	R6 当初計画	合同点検等に参加する		合同点検等を実施
		R7 3月末時点			
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	O	R6 当初計画	防災訓練時に水防団を対象に水防工法等の演習を実施する	要請に応じて参加・支援	各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う。
		R7 3月末時点			
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認	P	R6 当初計画	令和6年度益田市水防計画を策定する	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施	備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
		R7 3月末時点			
・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	Q,緊	R6 当初計画	機能確保のための対策を図る		
		R7 3月末時点			
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	T	R6 当初計画	樋門操作員等研修会への参加を促進する	要請に応じて参加・支援	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
		R7 3月末時点			
③浸水を一日も早く解消するための排水対策					
■排水活動に資する基盤等の整備					
・高津川改修(再掲)	U	R6 当初計画			整備計画に基づき実施
		R7 3月末時点			
・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施	R	R6 当初計画	修繕計画中(南田、飯田:令和6年度計画中)		
		R7 3月末時点			
・樋門の無動力化の推進(再掲)	U	R6 当初計画			樋門無動力化の実施予定
		R7 3月末時点			
・排水設備の耐水性の強化	緊	R6 当初計画	実施予定なし	—	実施予定なし
		R7 3月末時点			
■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施					
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	S,緊	R6 当初計画	—	—	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
		R7 3月末時点			
新たな取組					
■報道機関との連携					
・報道機関との懇談会をwebにて開催	—	R6 当初計画		報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。	
		R7 3月末時点			